

さんじょう ひかりしょう
「山上の光賞」

Tel: 03-5404-3813 Fax: 03-4243-2031

www.sanjo-no-hikari-sho.com e-mail: info@sanjo-no-hikari-sho.com

2020年3月吉日

各位

健康・医療分野で活躍する80歳以上・35歳以下の方々を顕彰する

さんじょう ひかりしょう
第6回「山上の光賞」候補者募集のご案内

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、2015年に創設いたしました「山上の光賞」は、今年で第6回目を迎えます。このプログラムは、少子高齢化社会である日本の広範な健康・医療・医学分野において、よりよい社会を築くことに今なお現役で貢献している80歳以上の方々および35歳以下の方々を顕彰するものです。第1回から第5回に亘りまして、多数の候補者推薦を賜り、素晴らしい方々が受賞されました。このプログラムは当初75歳以上の方々を対象としておりましたが、昨今非常に多くの方々が現役で活躍し続けておられることから、第5回より80歳以上の方々を対象とすることになり、そして今回からは35歳以下の若い世代の方々も対象とすることとなりました。

第6回「山上の光賞」候補者募集にあたり、健康・医療・医学分野において尽力されている、例えば、医師、研究者、看護師、介護福祉士、NPO職員等、健康・医療・医学に従事されている80歳以上の方および35歳以下の方（2019年12月31日現在のご年齢）をご推薦賜りたく、ご案内申し上げます。

候補者の推薦は、電子メール（アドレス：info@sanjo-no-hikari-sho.com）もしくは、ファックス（03-4243-2031）、郵便（事務局宛）で受け付けます。応募の締め切りは、2020年4月6日（月）必着です。

本プログラムの詳細については、別紙または事務局ウェブサイト（www.sanjo-no-hikari-sho.com）をご参照ください。

ご推薦頂いた候補者が受賞された場合は、授賞式に同伴者様とご招待させていただきます。授賞式は2020年6月10日（水）午後6時よりパレスホテル東京にて開催する予定です。

少子高齢化の中にある日本を更に元気にしようとする私たちの試みにぜひご賛同頂き、「山上の光賞」の候補者をご推薦頂きますよう、ご案内申し上げます。

敬白

一般社団法人 日本病院会 会長 相澤 孝夫
公益社団法人 全日本病院協会 会長 猪口 雄二

「山上の光賞」はブリストル・マイヤーズ スクイブの協賛によって開催されます。

「山上の光賞」事務局
〒105-0001
東京都港区虎ノ門4-3-20
神谷町MTビル14F ㈱PRISM 気付



さんじょう ひかりしょう
第6回「山上の光賞」

**健康・医療分野で活躍する80歳以上・
35歳以下の方々を顕彰する**

【共催】

一般社団法人 日本病院会 公益社団法人 全日本病院協会

【協賛】

ブリストル・マイヤーズ スクイブ

「山上の光賞」について

「山上の光賞」は日本の広範な健康・医療・医学分野において素晴らしい活躍をし、よりよい社会を築くことに貢献している80歳以上の方々、そして35歳以下の方々の顕彰するプログラムです。少子高齢化社会の日本では、人口構造の変化に関するネガティブな話を多く耳にするようになりました。しかしながら、その対極には日本の高齢者や若者が素晴らしい活躍をしている数多くの偉大なストーリーがあります。そこで、高齢を迎えてなお、その豊富な経験、知性、そして知識を駆使しながら活躍を続けておられる方や、若年にして様々な業績をあげている期待の精鋭を顕彰することにより、更に多くの日本のシニアを勇気づけ、また若い世代の更なる活躍を触発することをこのプログラムは目指しています。シニア層、若年層という全く異なる世代において、健康・医療・医学分野で活躍し、広く社会に貢献している方々と一緒に顕彰することによって、少子高齢化の只中にある日本の明るい希望に光をあてることを目指しています。

「山上の光賞」では、健康・医療・医学に関する様々な分野を対象とし、例えば、医師、研究者、看護師、介護福祉士、NPO職員等、健康・医療に関連する広範な分野における80歳以上の方々、また35歳以下の方々の活動を顕彰致します。このプログラムでは当初75歳以上の方々を対象としていましたが、昨今非常に多くの高齢者が現役でご活躍し続けておられることから、第5回より80歳以上の方々を対象とすることになりました。そして第6回からは、35歳以下の若い世代の方々も対象とすることとなりました。

全国から募集する候補者の選考は、本プログラムの共催団体、事務局からは独立した審査委員会によって厳正に行われます。「山上の光賞」の審査基準は以下の通りです。今回からは「80歳以上の部」、「35歳以下の部」に分けて審査が行われます。候補者はこのうちひとつ以上の項目に当てはまることを期待されます。

- 高潔な人格
- 組織における卓越したリーダーシップ
- 特定の領域におけるニーズに応え、健康・医療の促進に大いに貢献する業績を有する
- 医療サービスの提供における大いなる貢献
- 創造力豊かなアイデアで既存のプログラムの大幅な伸展に貢献した実績
- 健康・医療の分野における斬新なアプローチの導入
- 健康・医療に関わる諸分野での研究における飛躍的な成果（ブレイクスルー）
- 公衆衛生の促進への貢献（公的セクター、民間セクター問わず）
- 国際的な貢献

「80歳以上の部」では、80歳を超えてなお、現役で活躍しておられる方を対象とします。候補者が80歳を迎える以前の業績も考慮しますが、候補者が活動を現役で継続している場合に限りです。80歳を超えてから新たに始めた活動は当然対象とします。

また、本プログラムは「縁の下での力持ち」的で、これまでに相応しい顕彰を受けて来なかった活動に焦点を当てます。ただし、過去に多くの顕彰を受けている活動を排除するものではありません。

候補者の推薦にあたっては、その個人が受賞者に相応しい人物であることを示す客観的な評価等を含め、その理由を、数値などを用いてできるだけ具体的に記載して下さい。なお、推薦者が複数いる場合、2人目以降については推薦状（様式不問）を添付して頂いても構いません。

顕彰部門：

- 医師部門
- 研究者部門（医学、理工学、薬学、生物学、化学、医療経済学、医療政策研究等を含む健康・医療に関わる広範な分野における研究者）
- 看護・保健部門（看護師、助産師、介護福祉士、セラピスト等を含む）
- NPO・ボランティア部門
- 公衆衛生部門（公的な職責を有する公務員に限らず、民間において様々なかたちで公衆衛生の促進に貢献しておられる方も含む）

「80歳以上の部」、「35歳以下の部」それぞれで上記5部門において候補者の推薦を募集致します。審査委員会では、まず「80歳以上の部」、「35歳以下の部」それぞれにおいて各5部門のトップを決めます。各年齢カテゴリーで最終候補に残った5名の中から受賞に相応しいと思われる上位3名、合計6名に賞が授与されます。従って過去5回のように各部門において少なくとも1名が授与される訳ではありません。

山上の光賞

「80歳以上の部」

- 医師部門
- 研究者部門
- 看護・保健部門
- NPO・ボランティア部門
- 公衆衛生部門

各部門でのトップを決定

この5名の中から受賞に相応しい3名を選定

「35歳以下の部」

- 医師部門
- 研究者部門
- 看護・保健部門
- NPO・ボランティア部門
- 公衆衛生部門

各部門でのトップを決定

この5名の中から受賞に相応しい3名を選定

「80歳以上の部」上位3名、「35歳以下の部」上位3名、合計6名が「山上の光賞」を受賞。

- 対象： 80歳以上の方、35歳以下の方（2019年12月31日現在）
- 応募形式： 他者推薦
- 応募締切： 2020年4月6日（月）
- 応募方法： E-mail info@sanjo-no-hikari-sho.com
FAX 03-4243-2031
郵便 「山上の光賞」事務局宛
〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-3-20 神谷町 MTビル14F (株)PRISM 気付
- ※ 推薦用紙はウェブサイト www.sanjo-no-hikari-sho.com よりダウンロード下さい
※ なるべくデータでお送り下さい
- 受賞者発表： 2020年4月下旬に推薦者と受賞者に通知
- 第6回授賞式： 2020年6月10日（水）パレスホテル東京にて開催予定
- 正賞： 記念杯を受賞者本人へ贈呈

第1回受賞者：

医師部門	石川 秀雄	宗像医師会医師
医師部門	石川 育成	岩手県医師会会長
医師部門	河合 忠	有限会社国際臨床病理センター所長
研究者部門	小林 寛伊	東京医療保健大学名誉学長 大学院医療保健学科教授
看護・保健部門	川嶋 みどり	一般社団法人日本で・あーて, TE・ARTE, 推進協会代表理事
NPO・ボランティア部門	迫田 時雄	特定非営利活動法人国際障害者ピアノフェスティバル委員会会長
公衆衛生部門	本間 玲子 True	アライアント国際大学カリフォルニア心理大学校名誉教授

第2回受賞者：

医師部門	椎貝 達夫	椎貝クリニック院長
医師部門	長瀬 清	北海道医師会会長
医師部門	松島 松翠	長野県厚生連佐久総合病院名誉院長
研究者部門	平 則夫	いわき市立総合磐城共立病院病院事業管理者
看護・保健部門	近藤 潤子	天使大学大学院助産研究科特任教授
NPO・ボランティア部門	松村 満美子	NPO 法人腎臓サポート協会理事長
公衆衛生部門	島尾 忠男	公益財団法人結核予防会評議員会会長、顧問

第3回受賞者：

医師部門	伊東 潤造	公益社団法人宮城県医師会顧問
医師部門	高谷 雄三	一般社団法人福島県医師会会長
医師部門	西野 瑞穂	徳島モンゴル医療交流協会理事長、徳島大学名誉教授
研究者部門	黒木 登志夫	日本学術振興会学術システム研究センター顧問
看護・保健部門	坂本 フジエ	一般社団法人和歌山県助産師会
NPO・ボランティア部門	村上 一枝	NPO 法人カラ西アフリカ農村自立協力会代表理事
公衆衛生部門	久道 茂	公益財団法人宮城県対がん協会会長

第4回受賞者：

医師部門 (国際)	黒川 清	特定非営利活動法人日本医療政策機構代表理事
医師部門	祖父江 逸郎	公益財団法人長寿科学振興財団理事長
研究者部門	半場 道子	福島県立医科大学医学部整形外科学講座客員講師
看護・保健部門	池田 きぬ	株式会社セントレアいちしの里訪問看護師
看護・保健部門 (国際)	南 裕子	高知県立大学大学院看護学研究科特任教授
NPO・ボランティア部門	大石 由紀子	Oishi サポートセンター代表/Tada パーキング代表取締役
公衆衛生部門	山口 昇	公立みつぎ総合病院名誉院長・特別顧問

第5回受賞者：

医師部門	鬼塚 卓彌	昭和大学 名誉教授、特別顧問
医師部門	横山 宏	特定非営利活動法人山梨ホスピス協会 理事長
研究者部門	遠藤 正彦	国立大学法人弘前大学大学院医学研究科附属高度先進医学研究センター 糖鎖工学講座 名誉教授、客員研究員
看護・保健部門	江藤 信子	江藤助産所 所長
NPO・ボランティア部門	富安 兆子	高齢社会をよくする北九州女性の会 代表
公衆衛生部門	加藤 邦夫	医療法人徳洲会 仙台徳洲会病院 健康管理室 医師

(受賞時の所属・役職を記載しています。)